

choseikai
Since 1945, Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 5 月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

花祭り

花祭りは仏教の開祖であるお釈迦さまの誕生日にそのお祝いをする行事です。

お釈迦様がお生まれになったときに、天に9頭の龍が現れ甘い水を吐き、その水をお釈迦様の産湯に使ったという伝説から、花祭りではお釈迦様の像に甘茶をかけるそうです。

きりんでは花祭りに向け、花御堂の飾り付けを利用者様にお願いしました。ひと花ひと花心を込め、花でいっぱいになっていくのを喜ばれていました。

4月8日、花祭り当日は代わる代わる花御堂に利用者様が来られご家族様の幸運とコロナ退散などを祈られていました。



春爛漫

暖かく過ごしやすい季節となり、外気浴の機会も増えました。

施設の遊歩道の道沿いにはたくさんの花が咲き、その廻りを蝶が舞い、鳥は囀り、春真っ盛りです。

利用者様は、とても素敵な笑顔で

「きれいかね〜」「蝶の飛んできたよ」と嬉しそうです。

外の陽の光や香り、風を感じながらこれからも、ともに過ごす貴重な時間を大切にしていきたいと思えます。



青空を泳ぐ

今年もきりんの駐車場に鯉のぼりが立ちました。パタパタと音をたて、元気よく泳ぐ姿はとても壮快です。「はあく。大きかねえ」と利用者様は見上げ、笑顔になられます。

昔は佐賀平野にもたくさん見られていた鯉のぼりですが、最近はずいぶん少なくなりました。堂々と風になびく姿は「どんなときも元気に！」と言っているようです。

ふくろう

きりんGHでは、ふくろうの置物を作りました。

利用者様が心を込めて作ったふくろうはそれぞれ表情が違います。どのふくろうも温かみが伝わってくるようです。

ふくろうは『福来朗』や『不苦労』などの字があてられる幸運を呼ぶ吉鳥と言われています。



また日本だけでなく、世界中にふくろうにまつわる神話や言い伝えがたくさんあり、さまざまな国で守り神として崇められているそうです。

窓越し面会について

日頃より新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

佐賀県内での新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、老健きりんでは4月29日より窓越し面会の対応方法を一部変更させていただきます。

他利用者様のご家族様との接触を防ぐため、事前にご予約ください。また、当日は正面玄関に記載のルールの元、ご面会いただきますよう、また他ご家族様へのご周知も併せてお願いいたします。

ご不明な点等は、お電話にて承りますので、左記までお問い合わせください。

- 介護老人保健施設きりん 0952-98-0120
- グループホームきりん 0952-71-8222
- きりんアパートメント 0952-98-3110

